[仕様]

生体電気のインピーダンス(BIA)測定項目	3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にインピーダンス(Z)を測定
電極方式	8点接触型電極法
測定方法	部位別直接多周波測定法 (Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method、DSM-BIA方式) 同時多周波数インピーダンス測定法 (Simultaneous Multi-frequency Impedance Measurement, SMFIM方式)
結果項目	[全身・部位別]筋肉量 [全身]体重、BMI、体脂肪率、除脂肪量、体脂肪量、体水分量、タンパク質量、ミネラル量、骨ミネラル量、骨格筋量、基礎代謝量、内臓脂肪レベル、骨格筋指数(SMI)、適正体重、筋肉調節、脂肪調節、体重調節 [部位別]周囲長(首、胸部、腹部、臀部、右腕、左腕、右太もも、左太もも) [その他]体成分履歴(8回分測定結果)、インピーダンス(部位別・周波数別)
体成分算出	統計補正(人種、性別、年齢)の排除
ロゴ表示	結果用紙に施設名、住所、連絡先の記載が可能
結果確認	LCD画面、結果用紙、データ管理ソフトLookinBody(オプション)
結果用紙の種類	体成分結果用紙(専用/内蔵)、小児用体成分結果用紙(内蔵)、サーマル結果用紙
測定音	測定時の進行状況、環境設定保存、個人情報入力を知らせる案内音及び測定時の音声ガイドの設定可能
測定姿勢	立位
測定画面	カラーLCDで測定過程と測定結果を表示
管理者メニュー	測定環境に合わせてITO-InBody370Sの機器設定及び測定データの確認
結果保存	ID入力時、ITO-InBody370S本体に測定結果保存(測定合計100,000回まで保存可能)
データコピー	USBメモリーに保存可能(Excel、LookinBodyで確認可能)※(株)インボディ・ジャパンが推奨するUSBメモリー
データバックアップ	USBメモリーで機器に保存されたデータのバックアップと復元
プリンター接続	USBポート
使用電流	200μA(±40μA)
消費電力	70VA
電源アダプタ	①Bridgepower 電源入力 AC100-240V,50/60Hz,1.2A(1.2A-0.6A)　電源出力 DC12V=,3.4A ②Mean Well 電源入力 AC100-240V,50/60Hz,1.0-0.5A　電源出力 DC12V=,3.34A
表示画面	800×480 7inch Color TFT LCD
入力インターフェース	タッチスクリーン、キーパッド
外部インターフェース	RS-232C×4、USB Host×2、USB Slave×1、LAN(10/100T)×1、Bluetooth×1、Wi-Fi×1
対応プリンター	(株)インボディ・ジャパンが推奨するプリンター
装置寸法	(W)522×(D)874×(H)1,059(mm)
装置重量	23.8kg
測定時間	15秒
動作環境	[温度]10～40℃　[湿度]30～75%RH　[気圧]70～106kPa
運送及び保管環境	[温度]-10～70℃　[湿度]10～80%RH　[気圧]50～106kPa(結露がないこと)
体重測定	[ひょう量]250kg　[目量]0.1kg　[着衣量(PT)]0～5.0kg(0.1kg単位)
身長範囲	110～220cm
測定対象年齢	6～99歳

※性能改良のため仕様・デザインは予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

メーカー希望小売価格
1,050,000円(税抜)
(本体+プリンター+プリンター台)

[別売オプション品]

データ管理ソフト LookinBody120
120,000円(税抜)

[LookinBody120 必要システム構成]

OS	Windows 10(32bit/64bit)互換
CPU	1.8GHz以上のプロセッサー
HDD	10GB以上の空き容量
メモリ	4GB RAM以上
解像度	1024×768以上
通信方法	Serial(RS-232C)、USB、Wi-Fi、Bluetooth

クラウド型データ管理サービス
LookinBody Web
36,000円／年(税抜)

サーマルプリンター
36,000円(税抜)

専用支持台
38,000円(税抜)

専用結果用紙(500枚入)
10,000円(税抜)

お問い合わせ先

販売元
伊藤超短波株式会社
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8
メディカル営業部
https://www.medical.itolator.co.jp/

製品に関するお問い合わせはこちらまで

営業所			
	札　幌	TEL.011(820)2830	FAX.011(842)1562
	仙　台	TEL.022(306)7667	FAX.022(306)7688
	埼　玉	TEL.048(254)1013	FAX.048(254)1014
	東京第一	TEL.03(3812)1217	FAX.03(3814)4587
	東京第二	TEL.03(3812)4151	FAX.03(3814)4587
	名古屋	TEL.052(701)4515	FAX.052(701)6905
	大　阪	TEL.072(242)1043	FAX.072(242)1040
	広　島	TEL.082(292)3330	FAX.082(292)3331
	福　岡	TEL.092(573)6053	FAX.092(573)0218

製造元 **株式会社 インボディ・ジャパン　www.inbody.co.jp**
〒136-0071 東京都江東区亀戸1-28-6 タニビル　TEL. 03-5875-5780　FAX. 03-5875-5781

注) このカタログに掲載の記事、写真の無断転載を禁じます。全ての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。
デザイン、仕様は改善のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

B0c001044-2410　C2410DL
本カタログの記載内容は、2024年10月現在のものです。

高精度体成分分析装置

ITO-InBody370S

ITO-InBody370S

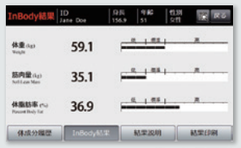
Professional Body Composition Analyzer

ITO PHYSIOTHERAPY &REHABILITATION

体の4大構成成分や骨格筋、部位別の筋肉バランスを高精度に測定。

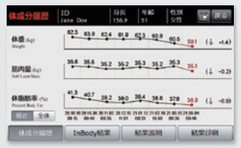
40以上の結果項目から目的に見合った項目を選択することができます。

- 整形・リハビリテーションでの指導や評価指標に
- 介護・デイサービスでのサルコペニア予防の動機づけに
- 生活習慣病予防の動機づけに
- 歯科医院での保健指導に
- フィットネスクラブの利用促進に



測定結果画面

測定結果説明画面



体成分履歴画面

❶ 体の構成成分

人の体は大きく分けて体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪で構成されています。これらの成分の均衡がとれている時に、我々の体は健康な状態と言えます。

❷ 筋肉と脂肪の割合

単に体重が多いことで肥満等を心配する必要はありません。それより大切な事は、体を構成している筋肉と体脂肪の均衡です。体重・筋肉量・体脂肪量の各棒グラフの先端を結んだ形によって、普通型・強靭型・肥満型等に分かれます。

標準体重普通型　標準体重強靭型　標準体重肥満型

筋肉量は主に体水分とタンパク質で構成されている除脂肪軟組織を意味し、骨格筋・内臓筋・心臓筋などを含む筋肉成分の総量です。骨格筋量は自分の意志で動かせる随意筋のみを示しており、研究項目から確認できます。

❸ 肥満指標

BMI(kg/m²)
体格指数(Body Mass Index)といって、身長と体重のみで肥満可否を判定するため、見かけの肥満度を意味します。

BMI＝体重(kg)÷身長(m)²

体脂肪率(%)
体脂肪率は体重に対する体脂肪の割合を意味します。

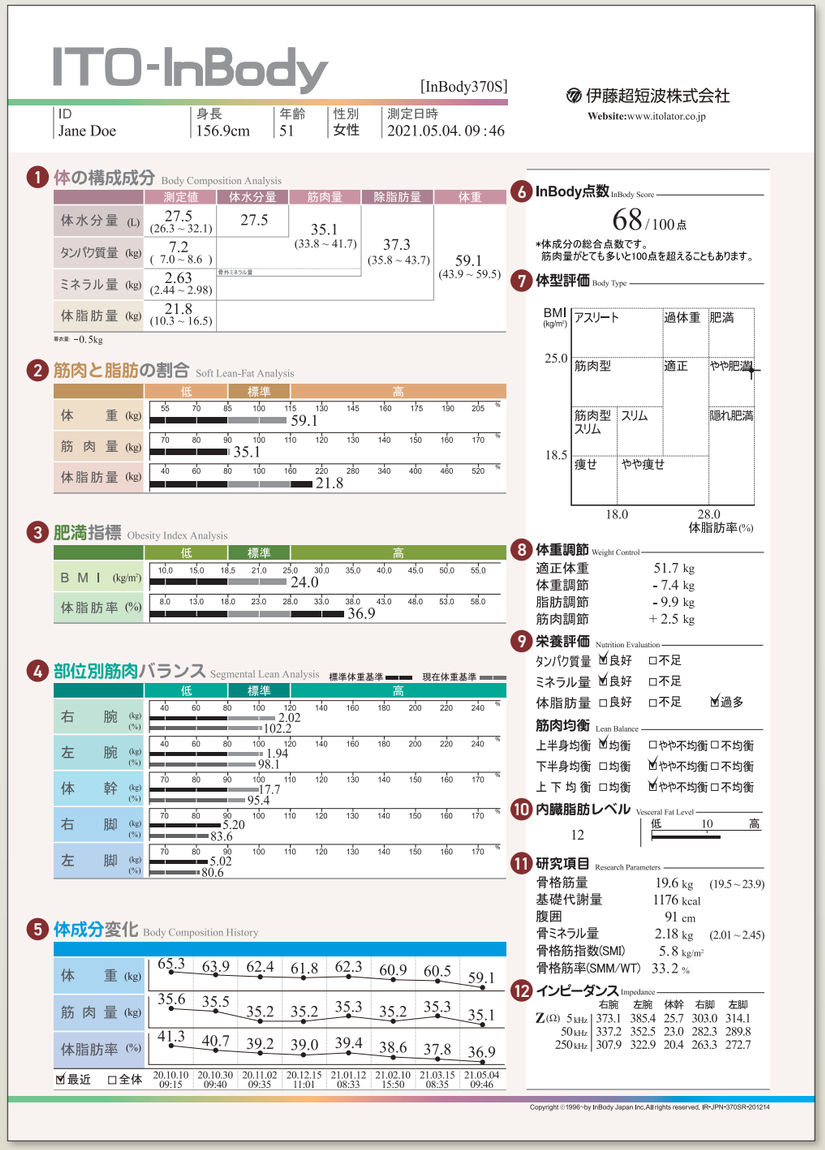
体脂肪率＝体脂肪量(kg)÷体重(kg)×100

❹ 部位別筋肉バランス

腕・体幹・脚の筋肉量を分析します。筋肉量は普段の運動量や活動量によって変動するため、運動効果をそのまま表す項目です。量だけでなく、評価も表示しますので、現在の体重に対する各筋肉量の多さを確認することができます。

❺ 体成分変化

測定時に同じIDで測定すると、そのIDの履歴データが折れ線グラフで最大8件まで表示されます。体重・筋肉量・体脂肪率が確認できます。



ITO-InBody [InBody370S]

伊藤超短波株式会社
Website:www.itolator.co.jp

ID	身長	年齢	性別	測定日時
Jane Doe	156.9cm	51	女性	2021.05.04. 09:46

❶ 体の構成成分 Body Composition Analysis

	測定値	体水分量	筋肉量	除脂肪量	体重
体水分量 (L)	27.5 (26.3～32.1)	27.5	35.1 (33.8～41.7)	37.3 (35.8～43.7)	59.1 (43.9～59.5)
タンパク質量 (kg)	7.2 (7.0～8.6)				
ミネラル量 (kg)	2.63 (2.44～2.98)	骨外ミネラル量			
体脂肪量 (kg)	21.8 (10.3～16.5)				

骨内容量 −0.5kg

❷ 筋肉と脂肪の割合 Soft Lean-Fat Analysis

	低	標準	高
体重 (kg)	55 70 85 100 115 130 145 160 175 190 205 %		59.1
筋肉量 (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 %		35.1
体脂肪量 (kg)	40 60 80 100 160 220 280 340 400 460 520 %		21.8

❸ 肥満指標 Obesity Index Analysis

	低	標準	高
BMI (kg/m²)	10.0 15.0 18.5 21.0 25.0 30.0 35.0 40.0 45.0 50.0 55.0		24.0
体脂肪率 (%)	8.0 13.0 18.0 23.0 28.0 33.0 38.0 43.0 48.0 53.0 58.0		36.9

❹ 部位別筋肉バランス Segmental Lean Analysis　標準体重基準　現在体重基準

	低	標準	高
右腕 (kg)	40 60 80 100 120 140 160 180 200 220 240 %		2.02
(%)			102.2
左腕 (kg)	40 60 80 100 120 140 160 180 200 220 240 %		1.94
(%)			98.1
体幹 (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 %		17.7
(%)			95.4
右脚 (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 %		5.20
(%)			83.6
左脚 (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 %		5.02
(%)			80.6

❺ 体成分変化 Body Composition History

	20.10.10 09:15	20.10.30 09:40	20.11.02 09:35	20.12.15 11:01	21.01.12 08:33	21.02.10 15:50	21.03.15 08:35	21.05.04 09:46
体重 (kg)	65.3	63.9	62.4	61.8	62.3	60.9	60.5	59.1
筋肉量 (kg)	35.6	35.5	35.2	35.2	35.3	35.2	35.3	35.1
体脂肪率 (%)	41.3	40.7	39.2	39.0	39.4	38.6	37.8	36.9

☑最近　□全体

❻ InBody点数 InBody Score

68/100点

*体成分の総合点数です。
筋肉量がとても多いと100点を超えることもあります。

❼ 体型評価 Body Type

BMI (kg/m²)			
	アスリート	過体重	肥満
25.0	筋肉型	適正	やや肥満
	筋肉型 スリム	スリム	隠れ肥満
18.5	痩せ	やや痩せ	

18.0　28.0 体脂肪率(%)

❽ 体重調節 Weight Control

適正体重	51.7 kg
体重調節	- 7.4 kg
脂肪調節	- 9.9 kg
筋肉調節	+ 2.5 kg

❾ 栄養評価 Nutrition Evaluation

タンパク質量	☑良好	□不足	
ミネラル量	☑良好	□不足	
体脂肪量	□良好	□不足	☑過多

筋肉均衡 Lean Balance

上半身均衡	☑均衡	□やや不均衡	□不均衡
下半身均衡	□均衡	☑やや不均衡	□不均衡
上下均衡	□均衡	☑やや不均衡	□不均衡

❿ 内臓脂肪レベル Visceral Fat Level

12　低 10 高

⓫ 研究項目 Research Parameters

骨格筋量	19.6 kg	(19.5～23.9)
基礎代謝量	1176 kcal	
腹囲	91 cm	
骨ミネラル量	2.18 kg	(2.01～2.45)
骨格筋指数(SMI)	5.8 kg/m²	
骨格筋率(SMM/WT)	33.2 %	

⓬ インピーダンス Impedance

	右腕	左腕	体幹	右脚	左脚
Z(Ω) 5kHz	373.1	385.4	25.7	303.0	314.1
50kHz	337.2	352.5	23.0	282.3	289.8
250kHz	307.9	322.9	20.4	263.3	272.7

Copyright © 1996~by InBody Japan Inc.All rights reserved. #R-JPN-370SR-201214

❻ InBody点数®

体成分の均衡度を分かりやすく点数化したものです。80点を基準に筋肉量が標準より多くなると1kgが1点として加算、少なくなると減算され、体脂肪量は標準との差分が減算されます。適切な体脂肪量を維持しながら筋肉量が多くなると点数は高くなります。

❼ 体型評価®

BMIと体脂肪率により体型評価を行います。身長、体重だけでは分からない体の中身も考慮して評価するので、より正確な評価が可能です。

❽ 体重調節®

理想的な体成分均衡になるための筋肉調節量と脂肪調節量を意味します。適正体重は体成分の状態を考慮するため、筋肉量が標準より多い人の場合、適正体重が標準を上回ることがあります。

❾ 総合評価®

測定結果を誰でも簡単に判定できるようにした項目です。チェック(✓表示)が標準・良好・均衡に多ければ望ましい状態であり、それ以外に多ければ、健康に影響を及ぼす体成分均衡の崩れが懸念されます。各評価はInBodyから提供される標準範囲を基準にしており、その標準範囲は標準体重で持つべき理想的な値を意味します。

❿ 内臓脂肪レベル®

内臓の間に存在する内臓脂肪の量を推定したレベルです。内臓脂肪レベルを10以下に維持することが健康な状態と言え、10を超えると注意が必要です。

⓫ 研究項目®

より具体的な栄養評価や生活習慣の指導に役立つ項目を中心に構成されています。

⓬ インピーダンス

部位別・周波数別にインピーダンスを表示します。インピーダンスは周波数を持つ交流電流が体水分に沿って流れる際に発生する抵抗であり、体成分を算出するための基データです。また、InBody測定が最後まで正常に行われた場合、インピーダンスは各部位と周波数に相応する値が計測されるので、測定エラーを判定できる指標になります。

※結果用紙の右側に表示される情報は、管理者による機器の設定に応じて説明と異なる場合があります。

目的や測定環境に合わせてカスタマイズが可能

クラウドサービス

ITO-InBody370Sをインターネットに接続して測定データをクラウドに保存すると、LookinBody Webから結果を管理することができます。測定者はスマートフォンから結果の閲覧が可能です。

二次元コード

ITO-InBody370Sをクラウドに繋げなくても、LCD画面や結果用紙の二次元コードを読み取ってスマートフォンで測定結果を閲覧したり、アプリ経由でクラウドに保存ができます。

※二次元コードで読み取ったデータはアプリ経由でクラウドに保存することができます。スマートフォンに専用のInBodyアプリ(無料)をGoogle Playストア、またはApp Storeでダウンロードする必要があります。タブレット端末ではアプリをダウンロードできません。
※二次元コードを結果用紙に表示するには、管理者メニューから「QRコード項目」を選択する必要があります。

ワイヤレス通信対応

Wi-FiまたはBluetoothを使うことによって、ワイヤレスでPCに繋ぐことができます。測定したデータは指定したPCで閲覧したり、管理することが可能です。

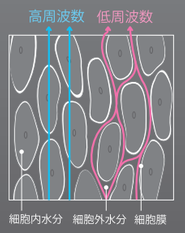
簡単かつ迅速な測定

音声ガイダンスと画面案内に従って、誰でも簡単に測定することができます。高周波を含む多周波数分析をしながら、測定時間が約15秒と短いことも特徴です。

精密な測定を可能にするITO-InBody370Sの技術力

部位別直接インピーダンス測定法(DSM-BIA)

ITO-InBody370Sの部位別直接インピーダンス測定法(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method、DSM-BIA)は、人体を右腕・左腕・体幹・右脚・左脚に分けて測定する技術です。断面積と長さの異なる各部位を別々に測定するため、どの体型でも同じ精度で分析できます。

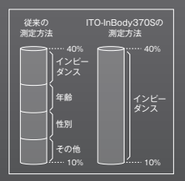


正確な測定を可能にする多周波数測定

3種類の広帯域周波数(5kHz、50kHz、250kHz)を用いて細胞内水分と細胞外水分を分けて測定する技術です。交流電流は周波数によって細胞膜を透過する程度が異なります。ITO-InBody370Sは、この特性を利用して低周波の電流では細胞外水分を求め、多周波の電流では水分均衡と全体の体水分を求めます。

高い再現性を実現する8点接触型電極法

人体の形状を考慮して左右の手と足に各2個ずつの電流・電圧電極を配置し、計8個の電極を使用する技術です。電流と電圧を分離したITO-InBody370Sの電極接触方式は、手首と足首の常に一定な位置から測定が始まるため、再現性がとても高く、皮膚による接触抵抗の影響を受けない正確な測定が可能です。



僅かな体成分変化も感知する統計補正の排除

ITO-InBody370Sは年齢や性別などの統計的な情報で体成分の結果を補正しません。身長・体重と実測したインピーダンスのみに基づいて体成分を算出するため、見逃しやすい僅かな体成分の変化まで感知します。これは体成分の変化を継続的にモニタリングする治療や、研究を目的とした分野では欠かせない技術です。